

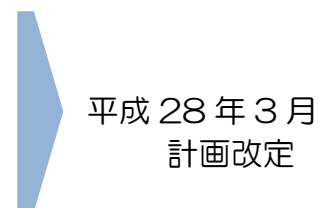
新潟市スマートエネルギー推進計画【第2期】の総括

1 計画概要

2 取組実績

(1)背景

- 平成 23 年 3 月 東日本大震災、福島第一原発事故
- 平成 24 年 7 月 固定価格買取制度がスタート
- 平成 25 年 3 月 新潟市が「環境モデル都市」に
- 平成 26 年 4 月 [国]第4次エネルギー基本計画の策定
- 平成 27 年 7 月 [国]長期エネルギー需給見通しの決定



(2)計画期間 平成 27 年度～平成 30 年度（4 年間）

(3)基本方針

新たなエネルギーの創出

- 太陽光発電（事業用・自家消費型）の普及、公共施設への率先導入
- 風力発電の普及
- 田園資源（もみ殻・木質資源）の有効活用
- 廃棄物・下水処理施設における発電・熱利用の推進
- 次世代自動車（EV・PHV・FCV※）の普及 ※FCV…燃料電池自動車

効率的なエネルギー利用の推進

- 再エネの最大限の活用（蓄電・熱利用含む）
- 省エネルギーの推進（省エネ＝創エネ）
- エネルギーの管理と最適化（エネルギーマネジメントシステムによる“見える化”）

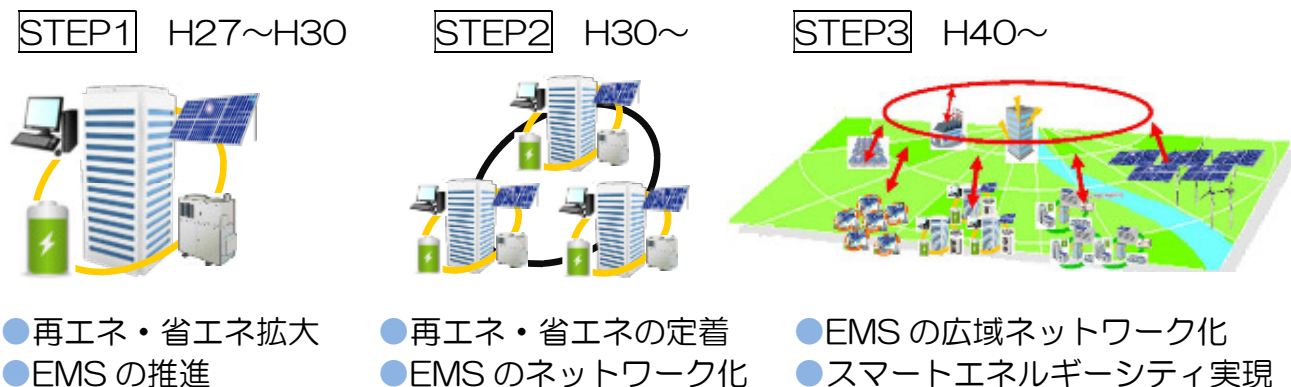
安心・安全なまちづくり

- 避難所等への太陽光発電と蓄電池の併設
- EV・PHV・FCV の非常用電源としての活用
- エネルギーの地産地消の拡大

(4)計画の目標

本市の総電力需要量に対する再生可能エネルギー発電量の割合	短期	中期
	平成 30 年度（2018 年度）	15%

(5)目指す将来像



(1)主な取り組み

年度	区分	トピックス	概要
平成 27 年度	太陽光 啓発 防災	①市民団体との 連携事業	8月に「おらってにいがた市民I社協-協議会」とパートナーシップ協定を締結。太陽光発電用に公共土地・屋根貸し市有施設 15 か所、計 830kW（H31.3 時点）
	バイオ マス	②亀田清掃セン ター機能向上	基幹改良（タービン発電機更新等）による発電出力向上。5,100kW→5,500kW
平成 28 年度	バイオ マス	③バイオワステッ ヨ新潟が運転	本市が北区太郎代に誘致したバイオマス発電所。出力 4,950kW
	田園 資源	④富山県射水市 と連携協定締結	もみ殻のエネルギー利用を推進するため、先行して取り組む射水市と連携協定を締結。
	LED	⑤西堀地下駐車 場の LED 化	経済部が所管する西堀地下駐車場を LED 照明に改修。40W×343 基
平成 29 年度	太陽光	⑥国補助を活用 し避難所等に太 陽光発電導入	H24 に造成した基金で太陽光発電+蓄電池を導入。H24～H28 で、避難所太陽光 13 施設、蓄電池 18 施設、民間太陽光補助 10 施設、公園外灯 15 か所
	太陽光 防災	⑦国補助を活用 太陽光発電導入	環境省補助金を活用し避難所に太陽光+蓄電池を整備。太陽光 10kW、蓄電池 10kWh を 4 施設へ
平成 30 年度	田園 資源	⑧もみ殻燃料 モニター事業	もみ殻を燃料としてビニールハウス暖房を行うモデル事業。H28～H29 に南区のチューリップ農家と実証
	太陽光	⑨四ツ郷屋メガ ソーラー稼働	本市が支援してオリックス(株)が西区四ツ郷屋に整備した県内最大の太陽光発電所。最大出力 55,610kW
平成 30 年度	LED	⑩基金を活用し た LED 導入	環境部が所管する基金から LED 照明化工事費を支出。保育園 25 施設、789 基
	次世代 自動車	⑪公用車として FCV 導入	公用車に FCV を率先導入。トヨタ「ミライ」1 台
平成 30 年度	低炭素 化推進	⑫越後天然ガス との連携	越後天然ガス(株)と 10 月に連携協定を締結。小売電気事業者登録後、秋葉区内の市有施設に電力を供給



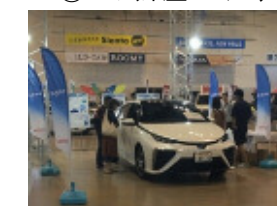
△①おらって協議会の小学生向け出前授業（岩室小）



△⑦太陽光
▷蓄電池
（沼垂小）



△⑨四ツ郷屋メガソーラー



△⑪FCV の展示会



△⑫越後天然ガスとの連携

(2)目標達成状況

